

平成25年度科学技術関係予算の 重点化について

平成24年3月21日
科学技術イノベーション政策推進専門調査会

予算プロセスの改革

従来の予算編成プロセス

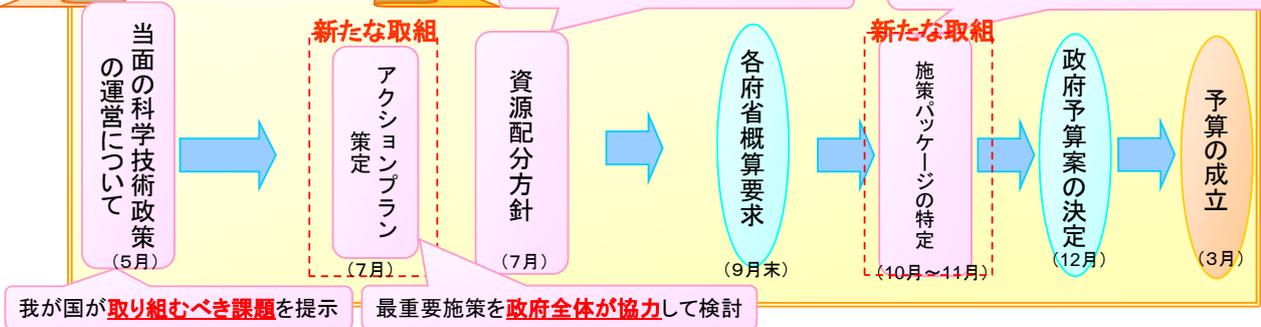
- ・6月に方針を提示
 - ・概算要求後に各省の施策に対して優先度判定を実施
- ➡ 概算要求検討の**前倒し・通年化が必要**



新たな予算編成プロセス

重点的に取り組むべき事項を提示

アクション・プラン以外に
各府省が特に推進する施策を重点化



◎平成24年度科学技術予算編成プロセスの効果

- 政府全体が協力して早期に検討
- パブリックコメントを実施
- 課題解決に特に重要な施策を各府省に提示
- 各府省連携の推進と予算要求の重複排除

予算編成プロセスの

- 通年化
- 透明化
- 重点化
- 効率化

を実現する
新たな取組

2

平成25年度予算編成における重点化の方向性

平成24年度

最重点

科学技術重要施策アクションプラン

- 総合科学技術会議が最も重要と考える施策の方向性を概算要求前に示すことにより、政府全体の科学技術予算の重点化を誘導

重点

重点施策パッケージ

- 各省が推進しようとする課題解決に向けた施策パッケージを概算要求後に提案。このうち総合科学技術会議が重点するものを特定し、重点化を誘導

平成25年度

平成24年度と同様、
2つのツールにより**最重点化・重点化**を図る。

3

1. アクションプランについて

- 復興・再生、グリーンイノベーション、ライフイノベーション、基礎研究・人材育成の各領域が対象とする政策課題を幅広く捉えた上で、その中から国として最重点で取り組むべき重点的取組を設定する。
- 24年度APで設定した政策課題・重点的取組についても、その後の状況の変化等を踏まえた見直しを行う。
- 政策課題・重点的取組の設定に当たっては、科学技術イノベーション戦略協議会等の協議結果を反映する。
- イノベーションの実現に資する観点から、AP対象施策に特定するための基準を明確化する。
 - (1) 目標設定(いつまでに何をするか)が明確・成果検証可能であること。
 - (2) 研究成果の活用段階における実施主体が明確であること。
 - (3) 実施アプローチが具体的・実効的であり、かつ、適切なマネジメントが期待できる実施体制であること。
 - (4) 施策の内容及び予算額が明確に特定できるものであること。

2. 重点施策パッケージについて

- 概算要求前からパッケージ化を誘導